

名古屋能楽堂

能楽普及公演

# 九月定例公演

能

狂言

能

「源氏供養」(喜多流)  
シテ 長田 郷

「弓矢太郎」(和泉流)  
シテ 鹿島 俊裕

「葵上」(観世流)  
シテ 久田三津子



上: 能「源氏供養」 撮影: 工房円  
下: 能「葵上」 撮影: 工房円

生誕百年 三島由紀夫  
「能楽」という底流をめぐって

私は十世紀に源氏物語のやうな小説が書かれたことを、日本人として誇りに思ふ。中世の能楽を誇りに思ふ。

『日本人の誇り』 決定版 三島由紀夫全集33 2003、新潮社、621P

古典を愛する三島由紀夫は、源氏物語と紫式部に関わる能の二作品を「近代能楽集ノ内」として現代劇に翻案、発表している。自ら気に入っていると言う《葵上》と、後に「魔曲」して封印した《源氏供養》だ。彼の演劇実験に着想を与えた、中世の能が描く源氏ゆかりの世界に今、立ち返りじっくり耽つてみたい。さらに舞囃子・連吟・仕舞も三島作品に関連する、もしくは見たという記録がある演目からお届けする。

《班女》:『近代能楽集』《竜田》:『芸術断想』《松風》:『奔馬(豊饒の海 第二巻)』武の道も作家が目指したところ。狂言「弓矢太郎」では、男たちが集まって太郎への謀りごと。はてさて、「強い男」とは？

令和7年

9月7日(日)13:30開演(12:30開場)

指定席……………4,200円  
自由席(一般)……………3,200円  
自由席(学生)……………2,000円

6月27日(金)より  
前売券発売



<https://www.bunka758.or.jp/facility/nougakudo/>